

やましる

2016年10月

第22号



普及センターだより

広がるやましる野菜

山城地域ではネギ、小松菜等の葉菜類やナス、キュウリ等の果菜類、聖護院大根、堀川ゴボウ等の根菜類と様々な野菜が栽培されています。近年、ネギの調製包装施設、ナスの共同選果場が稼働する等、広域での産地拡大や共同出荷、新品目の取組等の動きが出てきています。普及センターは、野菜のプロジェクトチームを中心に栽培研修会や出荷目合わせ会、巡回指導等、生産性・品質向上、安定供給による産地力の強化を支援しています。

さらに、加工野菜、花菜等の取組も始まり、やましる野菜の産地拡大が期待されます。



ネギの品種比較試験



ナスの栽培指導

京都府山城北農業改良普及センター

〒610-0331 京田辺市田辺明田1 TEL.0774-62-8686

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/fukyu/からどうぞ>

京都府山城南農業改良普及センター

〒619-0214 木津川市木津上戸18 TEL.0774-72-0237

獣害防護柵の点検・管理

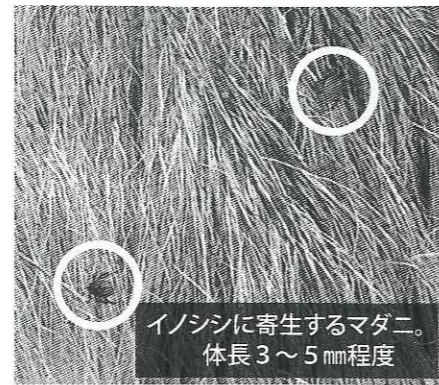
こんなことにも気を
つけましょう！

◆電気柵の点検、管理をする時は電気を止めて適切に設置された電気柵は、人が柵線に触れた場合、静電気に触れたような痛みがあります。不意の痛みに驚いて転倒したり、地形によっては転落する等の事故も起こりえます。点検時は柵線に触れないよう注意し、管理作業は通電を止めて行いましょう。



電気柵には危険表示を行い、万一の事故も起こらないように。

もし、マダニに咬まれたら、無理に引きはがさず皮膚科を受診しましょう。



◆捕まった野生動物を見つけた時は

ネット柵に絡まったシカに近づいた人が、暴れるシカの角に刺される事故が起こっています。ネットに絡まったシカを見つけても、不用意には近づかず、猟師さんか市町村の担当者に相談してください。



◆マダニに咬まれたら

マダニは野生動物だけでなく、人にも取り付いて吸血します。その際に感染症を媒介され、死亡した事例もあるので注意が必要です。

防護柵近くの草むらにもマダニは生息します。作業時は、肌の露出が少ない服装を心掛け、作業後は身体にマダニが付いていないかチェックしましょう。

茶品評会 審査結果

☆第69回関西茶品評会

農林水産大臣賞 (敬称略)

普通煎茶	(農)グリーンティー高尾(南山城村)
かぶせ茶	勝谷健士 (宇治田原町)
玉露	出島藤司 (京田辺市)
てん茶	古川嘉嗣 (宇治市)

産地賞

普通煎茶	南山城村
かぶせ茶	宇治田原町
玉露	京田辺市
てん茶	宇治市

☆第70回全国茶品評会

農林水産大臣賞 (敬称略)

てん茶	辻喜代治 (宇治市)
-----	------------

産地賞

てん茶	宇治市
-----	-----



入賞された皆様、おめでとうございます。

～農薬を安全に正しく使いましょう～

…山城の頑張る若手農業者…

万願寺トウガラシ栽培で農業の魅力

こやま たか ひろ
小山貴裕さん
(青年農業者/宇治市)



小山さんは、7年前に就農、水稻やハウス3棟で万願寺トウガラシ、ハウレンソウ等を栽培されています。宇治市では最初(平成25年度)に府の補助事業を活用しハウスを導入、万願寺トウガラシ栽培に取り組み、地域で新たに栽培を開始する人達のお手本となっています。

「若い農業者に農業の魅力を伝えると同時に、消費者に安心・安全な作物を届け信頼を得たい」という小山さんは、年間を通じた安定した収入確保、天敵製剤の積極的な導入等に取り組まれています。

現在は青年農業者として、今年度からはJA京都やましろ青壮年部宇治支部支部長として地域の若手のまとめ役として期待されています。

仲間との繋がりがパワーの源!

きた もと かつ み
北本勝実さん
(青年農業者/南山城村)



北本さんは、約5.5haの茶園で、てん茶を生産されています。もともとは煎茶を生産されていましたが、平成18年にてん茶工場を建設された、地域では数少ないてん茶専門農家のおひとりです。他産地に負けない品質で勝負できるてん茶生産を心掛け、肥培管理や整剪枝、被覆技術に工夫を重ねてこられました。栽培品種は、てん茶に適した「さみどり」「展茗(てんみょう)」「うじひかり」など京都府内育成品種への改植を積極的に進められ、今後は棚被覆などでより一層の品質向上を目指しておられます。「宇治茶に携わる多くの仲間からいつも大きな刺激を受けている」と北本さん。「常に明るく前向きに」をモットーに、さらなる活躍が期待されています。

地域と夢を持つ若者のために

やま ぐち ゆき のぶ
山口幸展さん
(木津川市山城町)



山口さんは青ネギを約2.3ha(露地1.5ha、ハウス0.8ha)栽培されています。平成23年に脱サラし、代々続く家業である農業に就かれました。2年後、経営・栽培の指導者でもあるお父様が突然他界され、悲しむいとまもないまま、否応なしに経営主となりました。それまでの仕事は「父親の言うことしかやっていなかった。」とのことでしたが、一転して、自分が全ての判断をしなければならなくなり、途方にくれた日々を送られたそうです。

しかし、そこは持ち前の粘りと人懐っこさで周りの農家からも助けられ、現在では父親の経営規模を上回るまでの青ネギ栽培を切り盛りするようになっています。

そんな山口さんは「人に助けられたからこそ、今の自分がある。今度は自分が人のために役立ちたい!」と新規参入希望者を研修で受け入れるなど、地域と夢を持つ若者のために尽力されています。

家族ぐるみでキュウリづくり

うえだ まゆ よしき かずき
上田麻由さん、芳樹さんと弟の和樹さん
(久御山町)

久御山町の上田麻由さんは、大のキュウリマニア。しかし、大阪の企業に就職して、出勤前に出荷の手伝いをしていた程度で、家業を継ぐ気はなかったとのこと。7年前に芳樹さんと結婚したのをきっかけに家業を二人で継ぐことを決意、ご両親、芳樹さんの4人での経営が始まりました。お父さんの考え方による「皆が主人公」の経営の様子をみて、妹さんも経営に参加。そして鹿児島県徳之島出身である芳樹さんの弟の和樹さんも昨年助っ人として加わりました。遠距離就農です。

さらに、今夏、待望の第一子が誕生。上田農園の今後の発展に目が離せません。



～築いていこう 男女共同参画社会～

京のやましろ農業応援隊の活動

新しく農業を始める若者には、就農相談や、就農計画作成の支援を行っています。



農家を伴走支援

経営改善を目的として、新しいことへのチャレンジに対して、皆様に「経営体育成事業」や「小さな経営革新チャレンジ事業」の実施について伴走支援を行っています。これによって、ハウスのコンピューター制御導入、未成熟トウモロコシ販売等に取り組んだ優れた事例が生まれています。

新規に万願寺トウガラシ栽培に取り組んでいる方には、JAのTACと普及員がともに巡回指導を行い、技術向上に努めています。

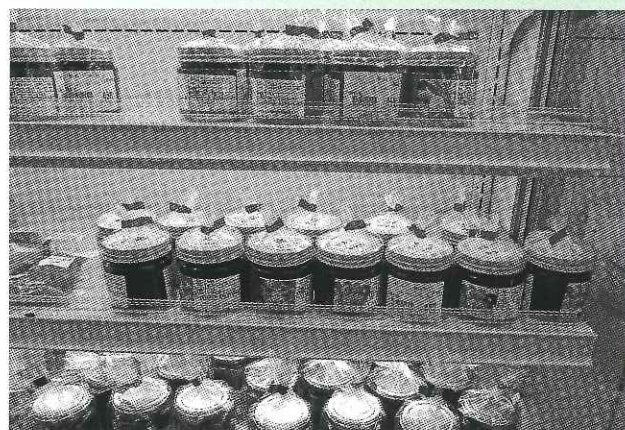
このように、普及センターは農業応援隊で、経営向上にチャレンジする農業者の伴走支援を行います。

直売所紹介

四季彩館直売所

(JA京都やましろ農産物直売所八幡店)

四季彩館直売所は、やわた流れ橋交流プラザ内に平成26年10月にグランドオープンしました。会員数147名中140名が八幡市在住であり「八幡市産を意識した」店舗となっています。



本直売所の大きな特徴は「交流」です。お客様は、流れ橋目当ての観光客、自転車道路を快走するサイクリスト、目利きの料理人、地元農産物のファンなど多様です。この多くのご要望に応えられるよう、野菜や果物、加工品、お弁当・パン、お土産品、クラフト小物などを販売されています。さらに、観光シーズンやお正月など、その時々に対応する品揃えの充実を心がけておられます。

来年度の「お茶の京都」を控え、商品開発や商品陳列の工夫等会員・スタッフが協力し更なる充実に向け活動されており、ますます注目を集めること間違いなしです。

皆様、ぜひお立ち寄りください。

農作業事故に注意！ 農作業時、こんな事故が起こっています。

- ・トラクターによる事故
- ・高所で作業中の事故
- ・耕うん機、草刈り機による事故
- ・機械への巻き込まれ事故



※家族や仲間で声掛け合って、事故をなくしましょう。

(2016 全国農作業安全運動)

～ 余裕のある作業で、事故を防ぎましょう！ ～